

サドルチェーンクランプ 50 取扱説明書

■ はじめに

サドルチェーンクランプ 50をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、十分理解した上で正しくお使い下さい。

品名	品番
サドルチェーンクランプ 50	EDI-50

この取扱説明書は、サドルチェーンクランプ 50を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害と財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。

お読みになった後は、サドルチェーンクランプ 50（以下チェーンクランプ）をご使用される方が、いつでもお読みになれるように保管しておいて下さい。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容をよく理解してからお読み下さい。

△警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
△注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守り下さい。

■ 使用目的

サドル型継手とポリエチレン管を融着する際、対象材を固定するための工具です。

■ 仕様

対象継手：EFシステムに使用するEF継手のサドル型継手

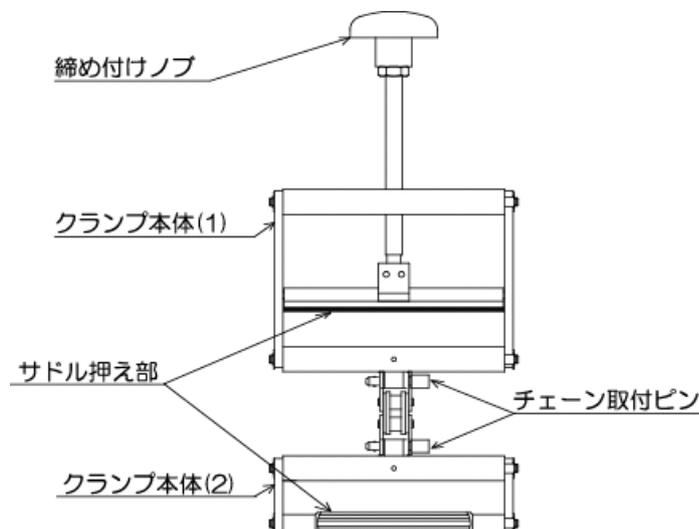
対象継手	呼び径
EFサドル・EFサドル付き分水栓	50

対象管：水道配水用ポリエチレン管（JWWA、PWA）

対象管		呼び径（外径基準寸法）
水道配水用ポリエチレン管	JWWA	50 (63mm)
	PWA	50 (60mm)

本製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■ 各部の名称



■ 安全上のご注意

△ 注意

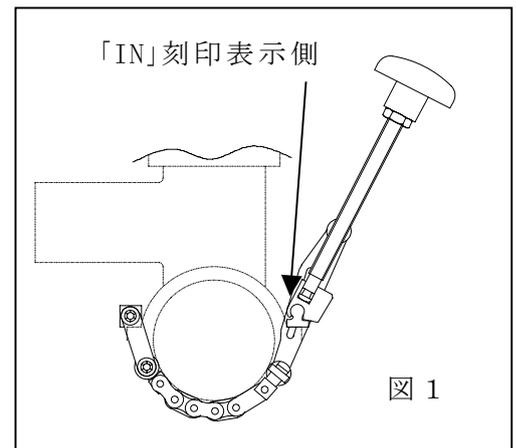
- ① この取扱説明書に記載された使用目的、仕様の範囲でご使用下さい。工具を改造したり、仕様を逸脱することはしないで下さい。融着不良やチェーンクランプの故障原因となるばかりか、事故を誘発する恐れがあります。
- ② 融着時及び所定の冷却時間内にチェーンクランプ各部及びクランプされている継手・管には絶対に触れないで下さい。外部から異なる力が加わりますと融着不良の原因となります。冷却時間については、各EFシステムのマニュアルをご参照下さい。
- ③ 「クランプ本体」や「締め付けノブ」等に損傷や摩耗がある状態では使用しないで下さい。クランプ力不足による融着不良の原因となります。
- ④ チェーンクランプ本体の締め付けネジなどの可動部は常に清掃を行い、砂・ごみ等の異物が無いきれいな状態で使用して下さい。異物が付着したままクランプしますと、正常なクランプ力が得られず融着不良の原因となります。
- ⑤ 融着前の切削方法、融着の良否の判定、融着不良の場合の処置などについては、各EFシステムのマニュアルをご参照下さい。

■ 作業の前に

- ① チェーンクランプのサドル押え部・締め付けノブ等に異物の付着が無いかを点検し、異物が付着していればウエス等で取り除いて下さい。
- ② チェーンクランプ各部のボルト・ナットが緩んでいないか点検し、緩みがあれば増し締めを行って下さい。

■ 使用方法

- ① 取り付け前に管に有害なキズ・ヘコミ等がないか確認して下さい。また、管に付着している土や汚れ等を取り除いて下さい。
- ② サドル型継手を融着する部分の管表面を切削して下さい。
※管表面の切削工具には、サドルスクレーパ(別売、品番:SDI)、樹脂管カンナ(別売、品番:PK-01)等があります。
※管表面の切削については各EFシステムのマニュアル及び各工具の取扱説明書に従い正しく切削して下さい。
- ③ 継手の分岐方向に注意し、管の切削面に継手を当てて下さい。
- ④ 「締め付けノブ」を左へ回して「サドル押え部」を開放し、取付方向に注意して管及び継手にセットします。「締め付けノブ」を右へ回して強く締め付けてクランプして下さい。取付方向(クランプの裏表)を逆に付けると融着不良となる恐れがあります。(図1)
- ⑤ 管と継手が正しく密着し、確実にクランプされていることを確認してから融着作業を開始して下さい。
- ⑥ 融着終了後、所定の冷却時間が経過したら、チェーンクランプを開放し取り外して下さい。
※冷却時間等、融着作業の細部は各EFシステムのマニュアルおよびコントローラ(融着機)の取扱説明書に従い正しく行って下さい。



株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所

☎ (059) 234-2454

<http://www.mccc corp.co.jp>